

薬剤部



薬剤部長
北村 良雄

専門医資格等

日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師

日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師

□ スタッフ

平成26年10月1日時点

	氏名	専門資格等
副薬剤部長	玉田 太志	日本臨床薬理学会認定CRC、日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師
副薬剤部長	河合 実	日本医療薬学会認定薬剤師、日本病院薬剤師会感染制御認定薬剤師、日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師、日本病院薬剤師会生涯認定薬剤師・生涯研修履修認定薬剤師、日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師
薬務主任	小林 雅典	日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師
治験主任	山本 靖子	日本臨床薬理学会認定CRC、日本糖尿病療法指導士、日本病院薬剤師会生涯認定薬剤師・生涯研修履修認定薬剤師
調剤主任	永井 聡子	日本糖尿病療法指導士、日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師、日本病院薬剤師会生涯認定薬剤師・生涯研修履修認定薬剤師、日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師
製剤主任	畝 佳子	日本医療薬学会がん専門薬剤師、日本病院薬剤師会生涯認定薬剤師・生涯研修履修認定薬剤師、緩和薬物療法認定薬剤師
調剤主任	服部 雄司	日本臨床救急医学会救急認定薬剤師、日本DMAT隊員、日本病院薬剤師会生涯認定薬剤師・生涯研修履修認定薬剤師、日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師
調剤主任	竹松 茂樹	日本病院薬剤師会HIV感染症薬物療法認定薬剤師、NST専門療養士、日本病院薬剤師会生涯認定薬剤師・生涯研修履修認定薬剤師、日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師
試験・検査主任	水津 智樹	日本アンチ・ドーピング機構スポーツファーマシスト、日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師
薬剤師	馬場 雅子	日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師
薬剤師	朴井 三矢	日本病院薬剤師会生涯認定薬剤師・生涯研修履修認定薬剤師・感染制御認定薬剤師、日本化学療法学会抗菌化学療法認定薬剤師
薬剤師	後藤 智美	日本病院薬剤師会生涯認定薬剤師・生涯研修履修認定薬剤師、日本臨床薬理学会認定CRC
薬剤師	物部加容子	日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師・妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師
薬剤師	木原 理絵	日本糖尿病療法指導士、日本腎臓病薬物療法学会認定薬剤師、日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師
薬剤師	淵崎恵美子	小児薬物療法認定薬剤師
薬剤師	水本 知宏	日本化学療法学会抗菌化学療法認定薬剤師、日本病院薬剤師会生涯認定薬剤師・生涯研修履修認定薬剤師・感染制御認定薬剤師
薬剤師	福田 良子	日本臨床救急医学会救急認定薬剤師、日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師

薬 剤 師	田 邨 保 之	日本病院薬剤師会生涯認定薬剤師・生涯研修履修認定薬剤師、日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師、日本糖尿病療法指導士
薬 剤 師	藤 村 尚 子	小児薬物療法認定薬剤師、日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師、日本病院薬剤師会生涯認定薬剤師・生涯研修履修認定薬剤師
薬 剤 師	神 林 由 樹	
薬 剤 師	藤 末 慎	
薬 剤 師	岸 本 周 子	
薬 剤 師	横 山 晋 一 郎	日本病院薬剤師会生涯認定薬剤師・生涯研修履修認定薬剤師
薬 剤 師	藤 井 大 和	
薬 剤 師	松 本 信 彦	
薬 剤 師	東 又 め ぐ み	
薬 剤 師	北 宅 良 祐	
薬 剤 師	竹 之 下 祥 愛	
薬 剤 師	吉 水 浩 史	
薬 剤 師	喜 田 孝 史	
薬 剤 師	植 田 裕 美	
薬 剤 師	堀 尾 綾 香	
薬 剤 師	小 玉 美 希 子	
薬 剤 師	宮 地 由 香 里	
薬 剤 師	上 田 浩 人	

□ 診療科の特徴

1. 各病棟に担当薬剤師を配置し、病棟薬剤業務実施加算を特殊病棟を除く全患者を対象に実施している。
2. 外来化学療法室での抗がん剤無菌調製、レジメンチェック、服薬指導を実施している。
3. 救命救急、ICU、NICU病棟に専任の薬剤師を配置し、ハイケア患者に対する薬物療法の質の向上を図っている。
4. ICT、NST、がん、緩和医療をはじめとしたチーム医療と各診療科の専属薬剤師が連携を取り、医師やその他の医療従事者と共働で入院患者の薬物療法の質の向上に努めている。
5. 早期体験実習生や年間27名の長期実務実習生を受け入れなど、質の高い教育研修を行っている。
6. 平成24年度に京都薬科大学との包括協定の締結や摂南大学との人事交流にて、教育や臨床研究の発展を図っている。
7. 治験・臨床研究実施におけるCRC業務等を実施している。

□ 診療(業務)内容

「薬学的介入によるアウトカムの検証」

〈病棟薬剤業務・薬剤管理指導業務〉

医師、看護師らとの連携により、可能な限り入院患者の初回投与時及び退院時の服薬指導を実施するとともに、薬剤管理指導の増大と医療の質の向上に寄与する。

〈医薬品の安全性の確保〉

積極的に副作用情報を収集し、医薬品の安全性を確保するとともに医薬品情報の収集・提供体制の強化を図る。さらに、プレアボイド情報の収集に努め、迅速な対応を行う。また、医薬品関連インシデントの解析から、病棟専任薬剤師が医療事故防止策に積極的にアプローチする。

〈注射薬の無菌調製業務〉

全診療科の抗悪性腫瘍剤の無菌調製を実施し、医療従事者の安全性を確保するとともに医療事故の防止に努める。患者の安全性確保のため抗悪性腫瘍剤のレジメン管理の適正化を薬剤師主導で実施する。

〈医薬品管理の適正化〉

薬事委員会を通じて同種同効薬の整理を行い、採用医薬品数の縮減に努める。

〈教育研修・研究〉

積極的に各種研修に参加し資格認定及び専門薬剤師等の取得に努める。

薬学実務実習生、研修生を積極的に受け入れ、質の高い教育研修を行う。また、業務の効率化及び医療の質の向上を目的とした研究業務を行い、学会などに積極的に参加する。

〈調剤過誤防止〉

ヒヤリ・ハット報告の収集・分析・対策を迅速に行い、再発防止に努めるとともに鑑査の徹底により調剤過誤を減少させる。

〈チーム医療、クリニカルパスへの参画〉

薬剤師の専門性を活かした業務を押し進め、緩和ケア、糖尿病療養、ICT、NST、救命救急などのチーム医療に貢献する。また、クリニカルパスの運用において、薬剤部として積極的に関わり薬物療法の適正化に努める。

〈地域医療連携の強化〉

地域連携パスにおいて、服用薬の管理等、薬学的管理事項に関与し、在院日数の短縮に貢献するとともに、お薬手帳で薬薬連携の充実を図る。

また平成26年度は上記目標に加え、病院運営方針に則り、下記の目標についても現在実施中である。

国内外の学会や研究活動に積極的に参加し、最新の医学・薬学の知識修得に努めている。

また、薬学生の長期実務実習を積極的に受け入れている。

□ 地域医療連携・広報活動

平成26年度降圧薬勉強会 平成26年10月30日

平成26年11月6日

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

区分	演者・演題・学会名
著述発表	北村 良雄、玉田 太志、上野 裕之 医薬品の適正使用を目指した「病棟薬剤業務実施加算」算定の取り組み 国立医療学会誌 医療 vol.69 No.3 134-137
国内学会	喜田 孝史、岸本 周子、河合 実、北村 良雄、井口 守文、小川 尚、阿部 充、赤尾 昌治、和田 啓道、長谷川 浩二 アピキサバン投与前後の凝固指標評価の有用性に関する検討 第62回日本心臓病学会 2014年9月27日：仙台市
国内学会	藤村 尚子 総合病院小児科における薬剤師の介入 第24回日本医療薬学会年会 2014年9月27日：名古屋市
国内学会	畝 佳子、北宅 良祐、田邨 保之、物部 加容子、馬場 雅子、上野 裕之、河合 実、北村 良雄 外来化学療法センター常駐薬剤師によるプレアポイド事例の解析 第24回日本医療薬学会年会 2014年9月28日：名古屋市
国内学会	朴井 三矢、藤村 尚子、福田 良子、河合 実、玉田 太志、北村 良雄、志馬 伸朗 当院における抗MRSA薬の使用調査 第24回日本医療薬学会年会 2014年9月27日：名古屋市
国内学会	田邨 保之、畝 佳子、河合 実、玉田 太志、久保 速三、土屋 宣之、北村 良雄 難治性の痛み～薬剤師の視点から～ 第8回日本緩和医療薬学会年会 2014年10月5日：松山市
国内学会	朴井 三矢、藤村 尚子、福田 良子、河合 実、玉田 太志、北村 良雄、志馬 伸朗 当院における抗MRSA薬の使用調査 第62回日本化学療法学会西日本支部総会 2014年10月25日：名古屋市
国内学会	福田 良子、朴井 三矢、河合 実、玉田 太志、北村 良雄 抗インフルエンザ薬の予防投与の使用状況調査 第68回国立病院総合医学会 2014年11月14日：横浜市
国内学会	朴井 三矢、福田 良子、河合 実、玉田 太志、東野 和美、北村 良雄 病棟薬剤師とICT薬剤師の連携によるTDM実施向上への取り組み 第68回国立病院総合医学会 2014年11月15日：横浜市

国内学会	藤末 慎、森 英人、水津 智樹、河合 実、玉田 太志、青木 友和、北村 良雄 京都医療センターにおける神経膠腫患者に対する薬物療法の使用実態調査 第68回国立病院総合医学会 2014年11月15日:横浜市
国内学会	竹松 茂樹、井上 悠、岩嶋 貴子、金井 修、永井 聡子、河合 実、玉田 太志、北村 良雄 当院におけるHIV患者の骨密度測定について 第28回日本エイズ学会学術集会・総会 2014年12月4日:大阪市
国内学会	藤村 尚子、朴井 三矢、福田 良子、水津 智樹、河合 実、玉田 太志、北村 良雄、 京都医療センターにおけるESBL産生菌に対する抗菌薬の使用状況調査 第36回日本病院薬剤師会近畿学術大会 2015年1月25日:和歌山市
国内学会	東又 めぐみ、朴井 三矢、藤村 尚子、水津 智樹、河合 実、玉田 太志、河田 興、岡庭 暁子、北村 良雄 NICUにおけるテオフィリン使用患児の薬物治療アセスメントシート作成への取り組み 第36回日本病院薬剤師会近畿学術大会 2015年1月24日:和歌山市
国内学会	上田 浩人、横山 晋一郎、植田 裕美、木原 理絵、竹松 茂樹、水津 智樹、河合 実、玉田 太志、北村 良雄 当院におけるアフアチニブの使用成績調査 第36回日本病院薬剤師会近畿学術大会 2015年1月24日:和歌山市
国内学会	喜田 孝史、松本 信彦、竹松 茂樹、河合 実、玉田 太志、北村 良雄 ダクラタスビル塩酸塩及びアスナプレビル投与患者に対する薬物相互作用チェックの取り組み 近畿国立病院薬剤師会学術集会, 2015年3月7日:大阪市
国内学会	宮地 由香里、吉水 浩史、水津 智樹、永井 聡子、河合 実、玉田 太志、北村 良雄 白内障患者に対する退院時集団指導の取り組み 近畿国立病院薬剤師会学術集会, 2015年3月7日:大阪市
国内学会	北宅 良祐、畝 佳子、河合 実、岡崎 俊介、安井 久晃、北村 良雄 低用量CDDPに対する制吐療法の検討 日本臨床腫瘍薬学会2015 2015年3月15日:京都市